



# シソサビダニが媒介するシソモザイク病の総合的な防除技術を開発

## —防除マニュアルの活用で減収を防ぎます—

### 開発の背景・ニーズ

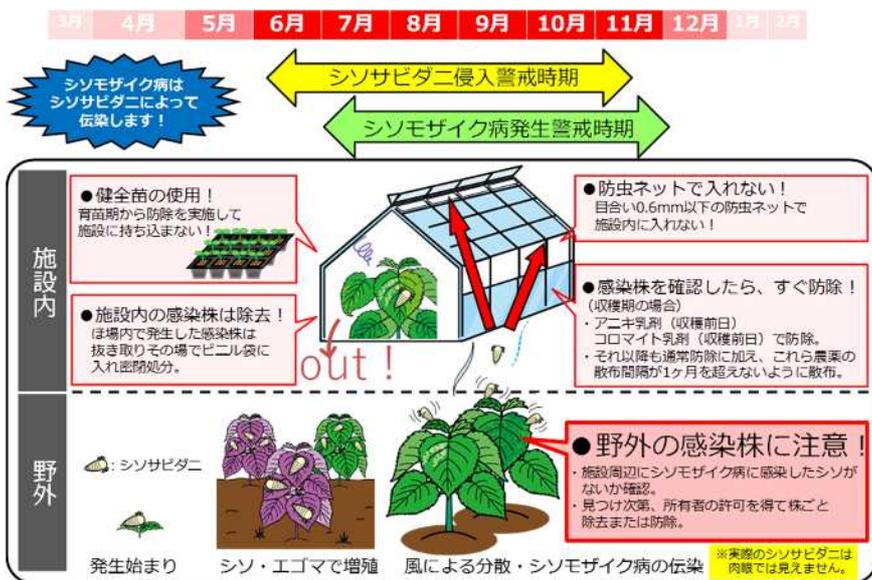
本県のシソ産地では、20年以上前からモザイク症状が発生していましたが、近年、これがシソモザイクウイルス（PMoV）の感染によって起こることが分かりました。シソモザイク病を抑えるためには媒介虫であるシソサビダニの防除を行うことが重要ですが、体長が0.2mm以下と小さいため、知らず知らずのうちにほ場内に侵入し、病気を引き起こします。

そこで、シソモザイク病を防除するための技術を開発し、防除マニュアルの作成に取り組みました。

### 成果の内容

- 診断・同定技術の開発
  - ・簡易で迅速に検出できるLAMP法を活用し、PMoVとシソサビダニを現場で診断できる技術を開発しました。
- 防除マニュアルの作成
  - ・シソサビダニ及びシソモザイク病の発消長を把握し、防除適期を明らかにしました。
  - ・シソサビダニに効果のある農薬を明かし、5剤について農薬登録が下りました。
  - ・感染源となる屋外や施設内の罹病株の除去を軸とした耕種的防除及び効果的な農薬散布を組み合わせた防除マニュアルを作成しました。

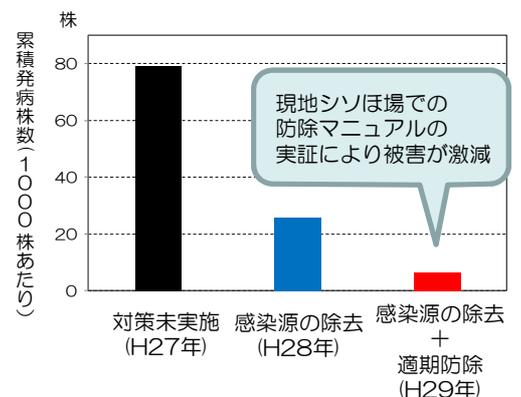
### シソサビダニを防除してシソモザイク病を抑えよう！



防除マニュアル（抜粋）



シソサビダニ（左）とシソモザイク病（右）



防除マニュアルによる被害軽減効果

### 愛知県農業への貢献

本防除マニュアルを活用し、シソサビダニを効率的に防除することで、シソモザイク病の発生を抑えることができます。

【本研究は、農林水産業・食品産業科学技術推進事業「シソサビダニが引き起こすオオバのモザイク病およびさび症の防除体系確立」で実施した成果です】